

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|---|---|
| <p>【評価項目】</p> <p>1 全体評価</p> <p>【原文】</p> <p>「また、教員業績評価・組織評価・事務職員業績評価については、<u>評価基準の策定やそれに基づく評価の実施等の取組が遅れており、今後、早急な対応が求められる。</u>」</p> <p>【申立内容】</p> <p>【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】</p> <p>「<u>組織評価については、「組織評価の基本方針（素案）」と「組織評価の実施要項（素案）」を策定したが最終決定には至っておらず、また、事務職員の新たな業績評価については、事務職員の人事評価システムに係る「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定し、平成20年度に実施することが決定しているが、今後、早急な対応が求められる。</u>」</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員業績評価については、平成19年度に実施済のため。 ・組織評価については、「組織評価の基本方針（素案）」と「組織評価の実施要項（素案）」を策定しているため。 ・事務職員の評価については、平成19年度に「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定し、平成20年度に実施することが決定しているため（平成20年度実施中）。 | <p>【対応】</p> <p>意見を踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>『また、<u>教員業績評価の評価結果の賞与等への反映、組織評価の基本方針(素案)等の最終決定及び事務職員業績評価に係る評価の実施が遅れており、今後、早急な対応が求められる。</u>』</p> <p>【理由】</p> <p>事実関係に即した修正。</p> |

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|---|---|
| <p>【評価項目】</p> <p>1 全体評価</p> <p>【原文】</p> <p>「このように、平成16 年度以降の評価委員会の評価結果で課題として指摘された事項に対して十分な対応がなされていないことから、大学全体として課題の解決に向けた<u>真摯</u>な対応が求められる。」</p> <p>【申立内容】</p> <p>【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】</p> <p>「このように、平成16年度以降の評価委員会の評価結果で課題として指摘された事項に対して十分な対応がなされていないことから、大学全体として課題の解決に向けた<u>早急</u>な対応が求められる。」</p> <p>【理由】</p> <p>平成16 年度以降の評価委員会の評価結果で課題として指摘された事項については、一部十分な対応はなされていないものの、評価結果は真摯に受けとめて大学運営に活用し、以下のとおり中期目標・中期計画の達成に向けて業務の進捗が図られているため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院博士課程の学生収容定員の充足に向けた取組として、医学研究科では、引き続き、入試広報活動を積極的に行うとともに、学生募集を第4次試験まで実施した。その結果、平成18年度と比較して、入学者数は35人から46人と増え、収容数は152人から155人と僅かながらではあるものの増加したこと。また、保健学研究科（博士課程）の | <p>【対応】</p> <p>原案のとおりとする。</p> <p>【理由】</p> <p>平成16年度以降の評価委員会の評価結果を踏まえて様々な取組を行っていることは理解するが、なお複数の課題が残っており、十分な対応がなされていないため。</p> |

設置に当たって、入学定員 9 人を振り替え、入学定員適正化の措置を講じたこと。

- ・教員業績評価については、平成19年度に実施し、評価結果に応じて平成20年度基盤研究経費を配分することを決定していること（平成20年度実施済）。
- ・組織評価については、「組織評価の基本方針（素案）」と「組織評価の実施要項（素案）」を策定していること。
- ・事務職員の評価については、平成19年度に「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定し、平成20年度に実施することが決定していること。
- ・第3次事務組織再編の実施について、平成20年度に決定していること（平成20年度実施済）。

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|--|--|
| <p>【評価項目】 2 項目別評価 (1) 業務運営の改善及び効率化</p> <p>【原文】 「平成19年度に「弘前大学における教員業績評価の基本方針」と「弘前大学教員業績評価実施要項」を策定し、教員の業績評価を実施しているが、<u>評価結果の賞与等への反映には至っていないことから、</u>早急な対応が求められる。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「平成19 年度に「弘前大学における教員業績評価の基本方針」と「弘前大学教員業績評価実施要項」を策定し、教員の業績評価を実施している。<u>評価結果の活用として、評価結果に応じて平成20年度基盤研究経費を配分することを決定しているが、賞与等への反映には至っていないことから、</u>早急な対応が求められる。」</p> <p>【理由】 「平成19年度実施に係る教員業績評価結果の反映方法について」を策定し、役員会で決定しているため（平成20年度実施済）。</p> | <p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>【理由】 事実関係に即した修正。</p> |

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|---|--|
| <p>【評価項目】 2 項目別評価 (1) 業務運営の改善及び効率化</p> <p>【原文】 「また、事務職員の業績評価については、事務職員の人事評価システムに係る「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定したが、<u>実施には至っておらず、引き続き</u>早急な対応が求められる。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「また、事務職員の業績評価については、事務職員の人事評価システムに係る「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定し、<u>平成20年度に実施することが決定しているが、</u>早急な対応が求められる。」</p> <p>【理由】 事務職員の評価については、平成19年度に「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定し、平成20年度に実施することが決定しているため（平成20年度実施中）。</p> | <p>【対応】 意見を踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>『また、事務職員の業績評価については、事務職員の人事評価システムに係る「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定したが、<u>平成19年度中には評価を実施しておらず平成20年度に実施することとしていることから、引き続き</u>早急な対応が求められる。』</p> <p>【理由】 事実関係に即した修正。</p> |

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|---|--|
| <p>【評価項目】 2 項目別評価 (1) 業務運営の改善及び効率化</p> <p>【原文】 「【法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる事項】 ○年度計画【17-2】「医学研究科における学生収容定員の充足に努める」（実績報告書19頁）については、収容定員を満たさなかったことから、年度計画を十分には実施していないものと認められる。」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 1. 医学研究科において、卒後臨床研修の義務化に伴い、医学部新卒者の大学院進学がなくなり、更に医師の大都市圏集中が進む中で、学生収容定員を満たすことはできなかったものの、以下のとおり学生収容定員の充足に努めていることから、「年度計画を十分に実施している」と判断したため。 ・入学者の確保に向けて、募集要項等を医療機関等に幅広く送付するなどの取組を強化した。各講座が主体となって、青森県内に止まらず、北海道、岩手県及び秋田県の医療機関の勤務医に対して、積極的に入学の働きかけを行うとともに、学生募集を第4次試験まで実施した。その結果、平成18年度と比較して、入学者数は35人から46人と増え、収容数は152人から155人と僅かながらではあるものの増加したこと。 ・社会医学講座では、長年、スポーツ医</p> | <p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>【理由】 医学研究科における入学者の確保のために様々な取組を行っており、その結果、入学者数が次第に増加していることや、入学定員の適正化に努めていることが認められるため。</p> |

学に取り組み、その実績が高く評価されている。メダリストを含むオリンピック選手などの一流アスリートが入学し、学位を取得しており、平成 20 年度入試では、バルセロナ五輪柔道金メダリストが合格するなどの成果が現れている。

2. 上記 1. のほか、以下のとおり入学定員の適正化にも努めているため。

- ・保健学研究科（博士課程）の設置に当たって、医学系研究科医科学専攻（博士課程）から入学定員 9 人を振り替え、入学定員適正化の措置を講じたこと。
- ・医学研究科医科学専攻（博士課程）から入学定員を振り替え、修士課程の設置について検討したこと。
- ・医学研究科医科学専攻（博士課程）における入学定員の削減について検討したこと（平成 21 年度から 5 名削減）。

3. 当該年度計画は、平成 16 年度に係る業務の実績に関する評価結果において課題として指摘され、これを真摯に受け止め、平成 18 年度計画に記載したものである。その後、平成 19 年度以降の年度計画についても記載してきた。

大学院の学生募集は 9 月から 3 月にかけて行われており、次年度の年度計画を届け出る際には収容数が確定している。また、充足率も 90% を満たしていないことは確定している。

従って、当該年度計画は、次年度の学生募集に向けて収容定員の充足に一層努めるとの趣旨から設定したものである。

これらのことから、平成 19 年 5 月 1 日現在における収容定員を満たさなかったことをもって、年度計画を十分には実施していないとの評価については、妥当ではないと判断したため。

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|---|--|
| <p>【評価項目】</p> <p>2 項目別評価</p> <p>(1) 業務運営の改善及び効率化</p> <p>【原文】</p> <p>「【評定】中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている</p> <p>(理由) 年度計画の記載60事項中59事項が「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるが、1 事項について「年度計画を十分には実施していない」と認められること、大学院博士課程において学生収容定員の充足率が90%を満たさなかったこと、平成16 年度から平成18 年度までの評価結果で評価委員会が指摘した事項に対して十分な対応がなされていないこと等を総合的に勘案したことによる。」</p> <p>【申立内容】</p> <p>【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】</p> <p>「【評定】中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる</p> <p>(理由) 年度計画の記載60 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるが、大学院博士課程において学生収容定員の充足率が90%を満たさなかったこと、平成16 年度から平成18 年度までの評価結果で評価委員会が指摘した事項に対して十分な対応がなされていないこと等を総合的に勘案したことによる。」</p> <p>【理由】</p> | <p>【対応】</p> <p>意見を踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>『【評定】中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている</p> <p>(理由) 年度計画の記載60事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるが、大学院博士課程において学生収容定員の充足率が90%を満たさなかったこと、平成16年度から平成18年度までの評価結果で評価委員会が指摘した事項に対して十分な対応がなされていないこと等を総合的に勘案したことによる。』</p> <p>【理由】</p> <p>前述意見に対する対応のとおり。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>年度計画【17-2】「医学研究科における学生収容定員の充足に努める」（実績報告書19頁）については、年度計画を十分に実施していることから、当該項目における年度計画の記載60 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」となるため。</p> | |
|---|--|

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|---|--|
| <p>【評価項目】 2 項目別評価 (3) 自己点検・評価及び情報提供</p> <p>【原文】 「また、事務職員の業績評価については、事務職員の人事評価システムに係る「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定したが、実施には至っておらず、引き続き早急な対応が求められる。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「また、事務職員の業績評価については、事務職員の人事評価システムに係る「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定し、平成20年度に実施することが決定しているが、早急な対応が求められる。」</p> <p>【理由】 ・事務職員の評価については、平成19年度に「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定し、平成20年度に実施することが決定しているため（平成20年度実施中）。</p> | <p>【対応】 意見を踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>『また、事務職員の業績評価については、事務職員の人事評価システムに係る「人事評価実施要項」と「人事評価マニュアル」を策定したが、平成19年度中には評価を実施しておらず平成20年度に実施することとしていることから、引き続き、早急な対応が求められる。』</p> <p>【理由】 事実関係に即した修正。</p> |